

## ✧ 晩夏から、これから「山野の花」 ✧

### ☆ 再発見 ☆



6月、霧に包まれた森でキンセイランに出会いました。

花笠を被った女の子たちが踊っている様に見えるキンセイランは、北海道から九州にかけて分布するラン科エビネ属の多年草です。分布域は広くても自生地は限られているため、絶滅危惧種に指定されています。

市内の植物を長年調べている方によると、市内での発見は十数年ぶりになるとのことで、見られなくなってしまった理由は人による採取だそうです。

採取以外でも、近年多くの希少種は、森林伐採、開発、自生地の消滅や悪化、外来種、温暖化や異常気象災害、ニホンジカによる食害等の影響によって、絶滅の危険性が高まっています。

草花の少ない薄暗い森の中で光り輝くように咲いている姿は、尚更美しく感じられました。

その場を去る時「来年も、この場所で会おうね」とキンセイランに語りかけました。

### ☆ お陰様です ☆



6月、地域の方が整備を行っている場所で、ジョウシュウカモメヅルを確認しました。都内の区部では絶滅しており、市内で確認された地点も限られています。生存を脅かす要因の一つに定期的な草地の管理の減少があります。

地域の方には、「継続的な管理があって花を咲かせることができた植物です」と、感謝の気持ちと共に報告し、見守っていただけるようお願いしました。

### ☆ 再会 ☆



昨年、初確認したヒメノヤガラ。過去に市内での記録がなく、存続が心配なため、7月、市の植物班の方と確認に行きました。

咲き始めた花を確認できたのですが、自生地に針葉樹の枝葉が積み上げられていました。隣接する森林で整備が行われた際に出たものと考えられます。植物班の方と相談して、急遽保護柵を設置し、森林整備が行われる場合は保護していただける様に、後日、関係部署に報告しました。

### ☆ 秋を知らせる鐘 ☆



これから10月にかけて出会えるツリガネニンジン。ごく普通に見られると言われていますが、草刈りが必要な頃に咲くからか、出会う機会は少なくなった気がします。

釣鐘状の花は、なんて可愛いらしいのでしょうか(^^)

暦の上で、今年は8月8日に立秋となります。まだまだ暑いですが、秋の気配を知らせてくれる山野の花の中の一つです♪

## ☆ 寿大学で講師「森林レンジャーが見たあきる野の自然」 ☆



寿大学とは、市内在住の60歳以上を対象に、秋川校と五日市校において、「社会参加に役立てることによって、豊かな心と生きがいを養うこと」等を目的として行われており、50周年を迎えるそうです。その秋川校講座の1コマを、パブロと加瀬澤レンジャーが担当しました。

当日集まった449名の受講生に、市の宝である自然の魅力と課題、そして、自然や地域の方に学んだことを次世代につなぐ環境教育について紹介しました。

時間一杯まで、自然の情報や私たちの自然への愛を浴び続けた皆さんは大変だったと思いますが(笑)、講演後に「子どもの頃から野山で遊んできたけど、今日の話は8割知らない事だった。市の自然の素晴らしさを改めて感じる事ができた。」「子どもの頃、近所にトウキョウサンショウウオの水場があって、よく卵を見ていた。崖地で危険ということで埋められてしまって、いなくなったことに寂しい思いがあった。」「想像もしない視点で勉強できた。」等の感想をいただきました。

皆さんの学びが多くの方に広がって、市の自然を次代に残していくことにつながりますように…ご清聴ありがとうございました!

## ☆ 第13期 森の子コレンジャー始動 ☆



今年も「自然が好き、自然をもっと知りたい」という思いを持った10名の仲間が集まりました!

5月は始動式の後、五日市周辺の「田んぼ～秋川～里山」をめぐる、ツチガエルやツバメ、ホトギス、たくさんの昆虫、キイチゴ等、季節の自然に出会いました。

6月は、コレンジャーが代々整備を行っているビオトープの動植物調査をしました。リーダーは、昨年自分たちが整備した場所に、多様な生き物が息づいていることを知って、とても嬉しそう♪初めてビオトープを見た仲間は、調査だけではなく整備ができることにもワクワクしてました(^^)今年も、みんなで協力して整備をしましょうね。

次の活動は9月!どんな夏を過ごしたのか、話し合うのも楽しみです♪



自分たちのフィールドから帰る途中、ゴミを見つけて拾ってくれました(^^)/

「自然と人のために  
ゴミは必ず持ち帰りましょう」